



全国高校総体サッカー記録用紙

限界を超え 飛躍の時代 永遠の思い出

マッチインスペクター	主 審
------------	-----

大会名	平成20年度 全国高等学校総合体育大会サッカー競技	第1日 1回戦	平成20年7月29日(火)	10:00	競技時間(延)	70分(分)	観衆	500人				
会場	秋葉の森総合公園サッカー場	【16】	天候	晴	微風	ヒッチ 全面良芝	状態	乾燥	温度	29℃	湿度	66%
審判	主 審 富松 健	副 審 昆 雄大	副 審 藤本 啓太	第4の審判 柿沼 亨	記 録			塚本 卓司				

校名	都道府県	1	前半	0	2	校名	都道府県
帝京長岡	新潟県	1	後半	2	2	東邦	愛知県
			延前				
			延後				Kick off

No	PK方式	No																	
Ox		Ox																	

交代	シュート				得点	学年	選手名	番号	位置	位置	番号	選手名	学年	得点	シュート				交代		
番号	時間	延後	延前	後半	前半										前半	後半	延前	延後	時間	番号	
						3	郷津 直樹	1	GK	GK	1	桑山 大助	2								
						3	石黒 悠人	3	DF	DF	2	大津 漱太	2								
				1	1	2	田村 脩	4	DF	DF	3	木村 剛大	2	1							
						2	上野 修斗	2	DF	DF	5	野田 健太	3			3					
						2	田口 雄	13	DF	MF	7	飯田 旭	3								
						3	鈴木 裕明(Cap)	6	MF	MF	6	鶴川 尚	3								
				3	1	3	山口 拓馬	10	MF	MF	8	渡辺 元規	3	1	1						
						3	江口 龍司	16	MF	MF	9	神野 史也	3			1					
				3		2	武士俣 雄己	11	FW	MF	4	伊藤 勇人	3	1						48	
					1	2	荒木 光	7	FW	FW	13	小嶋 直人(Cap)	3	1						40	
59					1	1	酒井 宣福	15	FW	FW	10	金 弘淵	3	2	1	2					
						2	加藤 翼	5	DF	FW	11	播 勇輔	2			1					
						1	長谷川 裕也	8	MF	GK	12	中津隈 史樹	2							13	
15				1		3	今村 拓郎	9	FW	DF	14	中村 智哉	3								
						3	藤田 隼	12	DF	MF	15	田中 宏昇	2							4	
						1	岩井 真里	14	MF	MF	16	高島 隆之	2								
						3	山崎 良輔	17	GK	FW	17	富田 恭輔	1								
				7	4	小計	11	シュート合計				13	小計	5	8						

警退時間	No	氏名	内容	計	延長	後半	前半	前半	後半	延長	計	警退時間	No	氏名	内容
警 69	10	山口 拓馬	反スポ	11		5	6	G K	3	4	7				
				2		0	2	C K	2	2	4				
				6		4	2	直接FK	5	2	7				
				9		2	1	間接FK	3	1	4				
				0		0	0	P K	0	1	1				

得点経過 (凡例: ~ドリブル、→ゴロのパス、↑浮球のパス、×混戦、Sシュート、Hヘディング)

時間	得点者	アシスト	得点経過	時間	得点者	アシスト	得点経過		
24	4	田村 脩	10	山口 拓馬	右CK⑩↑中央④S	64	10	金 弘淵	中央⑩~S
							10	金 弘淵	PK

【戦評】 記者: 木原 英輔 (奈良大学附属 高等学校)

両チーム共に4-4-2のダブルボランチ。前半、中盤での早いプレッシャーのかけ合いの中、帝京長岡はボールを奪った後の動き出しがはやく、⑬へのスルーパスやドリブル突破で決定機を何度か作り、25分に④がコーナーキックを合わせ先制。東邦は奪ったボールを⑩をターゲットに、又、サイドからのクロスで得点を狙うが単調な攻撃に終わり前半を折り返す。後半、東邦は⑩の運動量とスピードでペースを変え、バイタルエリアを攻略する場面が増えた。64分に⑩の長い距離のドリブル突破から東邦が同点に追いつき、69分にはPKで決勝ゴールを決めタイムアップ。東邦は最後まで諦めずよく走り勝利を掴み取った。帝京長岡は個の技術が高く、パスとの組み合わせから何度も決定機をつくったが、決定力が今後の課題として残った。
